

# 奈良時代から室町時代までの文学

鎌倉・室町時代	平安時代	奈良時代
<p>仏教的無常観 戦記文学 説話集など が編まれる</p>	<p>平仮名 片仮名とともに 和歌・物語・随筆 が発達</p>	<p>万葉仮名 がうまれる</p>
<p>『新古今和歌集』 (八番目の勅撰和歌集)</p> <p>『平家物語』 (琵琶法師の語り)</p> <p>『徒然草』 (兼好法師)</p> <p>『太平記』 (室町時代の軍記物語)</p> <p>『方丈記』 (鴨長明)</p>	<p>『源氏物語』 (紫式部)</p> <p>『枕草子』 (清少納言)</p> <p>『古今和歌集』 (最初の勅撰和歌集)</p> <p>『竹取物語』 (仮名で書かれた最初の物語)</p>	<p>『古事記』 (太安万侶)</p> <p>『日本書紀』 (舎人親王ら)</p> <p>『万葉集』 (日本最古の歌集)</p>